

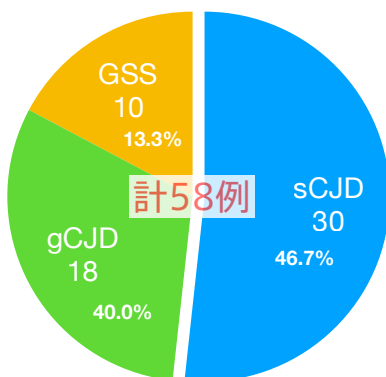
九州・山口・沖縄地区のプリオン病サーベイランス状況

研究分担者：九州大学病院 氏名 松下 拓也

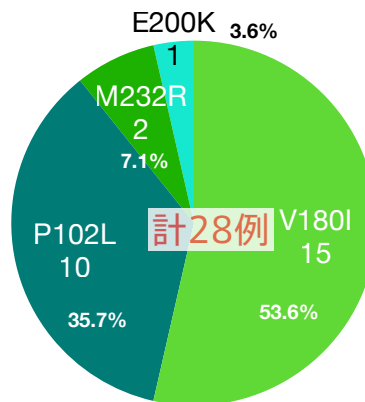
疾患タイプ別頻度(2017-2019)

県	調査済	孤発性CJD	遺伝性CJD	GSS	否定・その他
山口	2	1	1		
福岡	57	16	11	5	25
佐賀	10	1		4	5
長崎	0				
熊本	10	2	3		5
大分	2		1		1
宮崎	5	3	2		
鹿児島	15	5		1	9
沖縄	2	2			
計	103	30	18	10	45

孤発性と遺伝子プリオン病の比率



遺伝性プリオン病の遺伝子異常



解 説

- 2018年4月から2019年9月までに九州・山口・沖縄地区の103例についてサーベイランスを行った。
- 孤発性CJDは30例、遺伝性プリオン病については遺伝性CJD18例（V180I変異15例、E200K1例、M232R変異2例）、GSS 10例（P102L変異10例）であった。
P102L変異GSS例が多いが、高齢化を背景にV180Iの割合が高い傾向が見られる。
-